

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

- A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

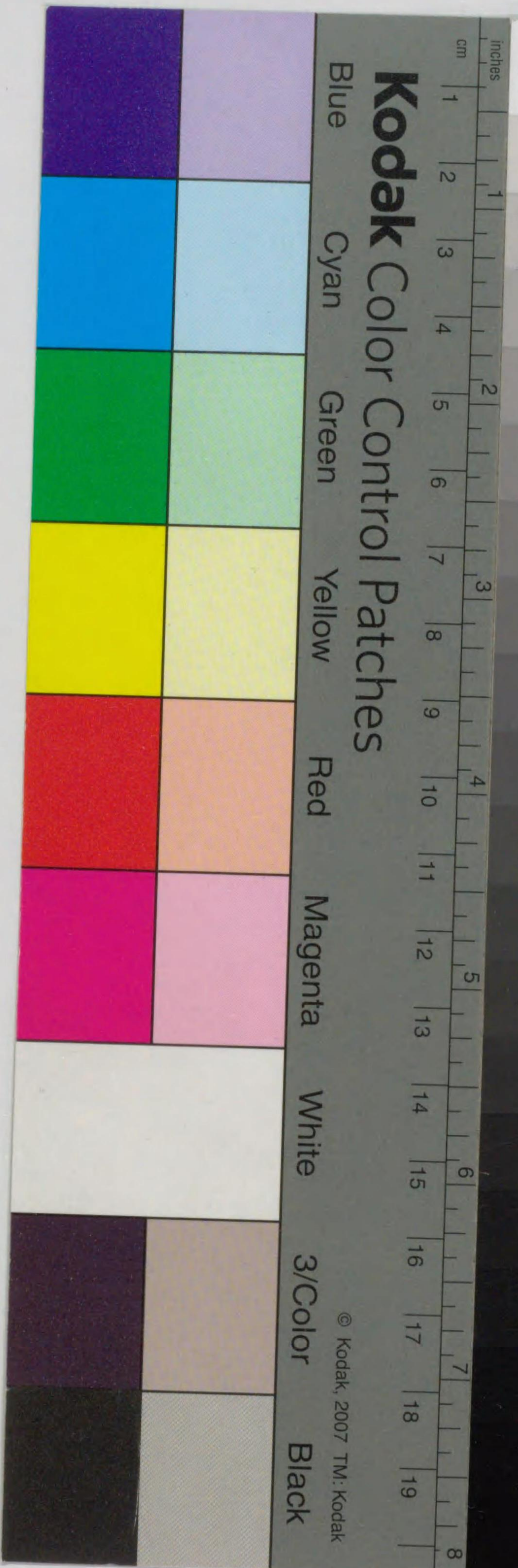
Magenta

White

3/Color

Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



579
55

579-185



1200501521302

青島港貿易概况
昭和三年度

統計月報第三十六號附錄
調查報告第四〇號

昭和三年度(自昭和三年一月
至昭和三年十二月)

青島港貿易概況

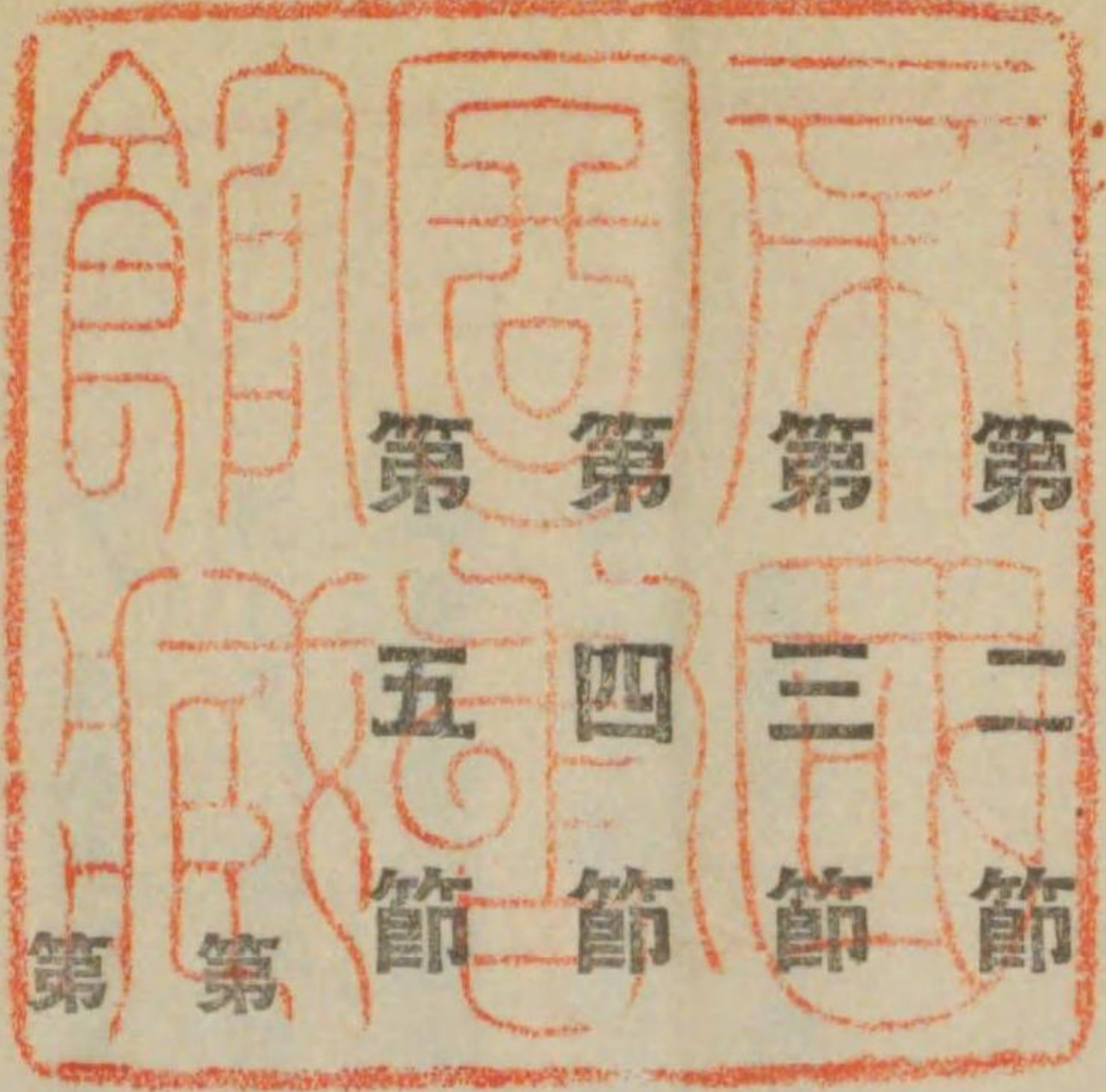
青島日本商工會議所

青島港貿易概況

發行所寄贈本

目次

第一節	總貿易額	一
第二節	關稅收入	三
第三節	出入船舶	五
第四節	往來旅客	五
第五節	輸入貿易	一
第一款	對外輸入貿易	一
第二款	對內移入貿易	一五
第三款	內地貿易	一六
第四款	主要輸入品之觸説	一八
第六節	輸出貿易	五一
第一款	概況	五一



右は汽船に據る貿易額にして、次に最近八ヶ年間に於ける民船に據る貿易額を示せば左の如し。

年別	輸 入	輸 出	合 計
十一年	四、三三、三五	一八、五二、七〇	三、九五、〇九二
十二年	四、九八、〇三	三、二四、八九六	一〇、七、三〇〇
十三年	四、九七、三六	三、三三、三六	一三、〇六、八四八
十四年	四、七六、一八七	二、四〇、二八六	五、九、四三、八三三
十五年	四、二九、四一	二、七三、九八五	六、九七、九六八
昭和二年	四、九五、九一	二、七、八、二四〇	七、四、〇、〇三八
昭和三年	四、四七、四八八	三、一〇、〇六	六、四、六、〇二四

(單位海關兩)

(註) ※印中には内河航行規定に據る船舶を以て運搬せられたるもの四百五十六萬二千五百八十一兩(内譯輸入百八萬一千八百八十兩及び輸出二百七十六萬一千四百一兩)を含むも、灣内貿易額三百七十五萬一千八百七十七兩は含まず

第二節 關稅收入

昨昭和三年度の膠海關收入關稅は總額三百三十一萬七千七百九十四兩七二四にして、前年度に比し五千七百六十四兩九二七と僅かに增收を示せり。之を稅種別に示せば、輸入稅百八十一萬八千五百二十二兩〇四三にして、前年度に比し十四萬六千四百七兩一二を増加し、輸出稅は百三十七萬七千八百八十六兩三九五にして二十九萬四千五百八十八兩五二八を減少し、沿岸貿易稅は九萬九千五百三十八兩六〇八にして、八千九百七十五兩二四五を増收、噸稅は二千七百九兩九〇〇にして、一千七百六十四兩五を増收せり。今昭和三年度關稅收入別を表示すれば左の如し (單位兩以下三位)

稅 種	外國船	支那船	合 計
輸 入 稅	一、六九、六七〇・三〇	一三、二四、四三三	一、八八、五三三・〇四三
輸 出 稅	一、二五、五、八九五・五五	一三、六六、八九〇	一、三七、八八六・九四五
沿岸貿易稅	八八、八四六・四三	一〇、六九二・一七五	九九、五三八・六〇八
噸 稅	一、六六、〇〇〇	一、〇八三・一〇〇	二、七四九・九〇〇
計	三、〇四三、三六〇・三五八	三六、二九六・五八	三、三九八、六五六・九四六
通過稅	内地ハ	内地ヨリ	
總 計	一、七、五三、五六九	一、六、一五、〇二九	三、三七、七九四・七四

(註) ※印中には民船貿易税四萬九千二百七十七兩四五及民船釐金一萬二千三百十九兩三六一を含む
④印中には民船貿易税六萬百四十六兩九四四及民船釐金一萬五千三十六兩七三六を含む

最近三ヶ年間關稅收入比較表

稅種	昭和十五年		昭和二年		昭和三年		比較
	金額	噸	金額	噸	金額	噸	
輸入稅	一、八三三、九九〇・〇六	—	一、六七二、四七四・九三	—	一、八二八、五三三・〇四	—	○
輸出稅	一、三五四、八七〇・五〇	—	一、四五六、〇八〇・九七	—	一、三七七、八六六・三五	—	×
沿岸貿易稅	三、一〇五、〇四三	—	九〇、五六三・三六	—	九、五三八・六〇	—	○
噸稅	二、四三三、二〇〇	—	九四五、四〇〇	—	二、七〇九、九〇〇	—	○
内地子口稅	五、二二四、九六	—	九〇、七一五、〇三五	—	一九、一三七・七八	—	×
附加稅	九五、四三三・二一〇	—	一、一五〇、一七	—	—	—	×
計	三、四三三、〇三三・三六	—	三、三二二、〇二九・七九	—	三、三二七、七九四・七四	—	○

昭和三年度膠海關稅收入關稅國別表

國別	輸入稅	輸出稅	沿岸貿易稅	噸稅	子口稅	合計
米國	六四、八九〇・〇一	五〇、六三三・〇七	—	—	—	一一五、五二三・〇八
英國	四九、九三九・三三	三、八七九・九四	—	—	—	五三、八一九・二七
丁抹	—	一、四三三・五八	—	—	—	一、四三三・五八
和蘭	—	三、一七四・六八	—	—	—	三、一七四・六八
佛國	六、五三〇	五、四三一・七九	—	—	—	一一、九四一・七九
獨逸	六〇、六五五・五六	三四、九三三・七一	—	—	—	九五、五八九・三三

國別	輸入稅	輸出稅	沿岸貿易稅	噸稅	子口稅	合計
伊太利	八、六九六・八三	三、七九一・三〇	—	—	—	一二、四八八・一三
日本	一、〇〇一、六〇〇・五〇	七、〇〇〇・七三	—	—	—	一、七〇一、六〇〇・五〇
日威	三、三三七・六八	七、七〇九・五九	—	—	—	一一、〇四七・二七
瑞典	六〇二・五九九	—	—	—	—	六〇二・五九九
支那	三二、八四四・四三	一一三、六六六・九〇	—	—	—	一四六、五一一・三三
計	一、八八、五三三・〇四	一、三七七、八八六・五五	—	—	—	三、二六六、四一九・五九

第三節 出入船舶

昨昭和三年度當港出入船舶は一般航行規定に據るもの合計三千五百八十二隻、此の登簿噸數五百八十一萬四千七百二十六噸にして、前年度に比し隻數に於て二百六十三隻、噸數に於て四十七萬八千三百五噸を増加せり。亦内河航行規定に據るものは合計一千五隻、此の登簿噸數十五萬二千五百十三噸にして前年度に比し隻數に於て百十六隻を増加せるも噸數に於て三百五十五噸を減少せり。是れ支那の小型船が増加し日本船が減じたる結果に外ならず。今昭和三年度當港出入船舶の隻數及噸數を國別に表示すれば左の如し。

青島港出入船舶隻數噸數表

(一般航行規定に據るもの)

國別	昭和二年		昭和三年		比較増減	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
米 國	九	三〇,三〇〇	八	二四五,七五四	○	○
英 國	四二	九九九,四七七	五五	一,三二,九九九	○	○
丁 抹 國	三	三三,三三三	二	一,〇三四	○	○
和 蘭	六	九一,〇四	八	四三,〇二八	○	○
佛 國	三	八九,六四	一四	六三,二九〇	○	○
獨 逸	三	五二六,四〇〇	一〇一	四三,九六四	○	○
伊 太 利	三	六九,〇四一	七	九八,〇二六	○	○
日 本	二,八八	二,八三三,三六六	二,三三七	二,八九五,二九九	○	○
諸 威	四	六六,三三六	四	八八,三二一	○	○
露 國	二〇	二〇,〇九四	一	—	○	○
支 那	三三	二五八,九四三	五三	四九四,二一五	○	○
西 班 牙	一	—	二	一〇,二二六	○	○
合 計	三,三三九	五,三三六,四二一	三,五八二	五,八四,七三六	○	○

青島港出入船舶隻數噸數表

(内河航行規定に據るもの)

國別	昭和二年		昭和三年		比較増減	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
日 本	五四	一〇六,七七	四六	七五,三五	○	○
支 那	三〇三	四,五九	五元	六,七四	○	○
伊 太 利	二	七三	一	—	○	○
英 國	一	—	二	二,二八	○	○
諸 威	一	—	六	七,五六	○	○
計	八八	一一,八六	一〇五	一五,五三	○	○

青島港出入民船隻數噸數

港別	大正十五年		昭和二年		昭和三年	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
滿洲大連	三	一一,五五〇	五	二八,〇六〇	二	五〇,三〇〇
其の他	五	四一,二五〇	四	一五,一九〇	一	七,七〇〇
山東省芝罘	二〇	四三,七〇〇	三	五三,六〇〇	二	四〇,八〇〇
石 島	一,二八	二〇五,九六	一,二九	二〇五,四九九	一,三六	三三八,七〇〇
乳 山	八五	一一四,〇九四	一,三二	二五,一四九	一,三五	二八,一四三
金 家 口	八三	一六,四一	一,五八	二五九,三〇〇	八二	一五,三九四

膠州海口	五五五	九四、〇六七	四九九	八五、〇四四	二六六	八三、九七〇
陳家官莊	六七五	九一、三七五	六八〇	九五、五六〇	七三三	九四、六八五
濰 礁 口	二、四四三	四九、八三七	二、一三三	四七、八六五	一、七八七	三、八三、〇三七
江蘇省海州	二、六六八	九三、六六五	一、八〇五	六〇、八四五	一、七四五	五七、八三九
上 海	七三	三九、七四〇	九六	四三、〇〇〇	五七	三八、四三〇
其 他	一、三六三	五八、四九九	一、〇三三	四七、三五〇	一、二九	四九、六三三
浙江省寧波	七五	二五、七〇〇	五五	三三、一五〇	三六	一六、〇〇〇
福建省福州	七	一六、一〇〇	一	一	一	五、〇〇〇
空 船	三、一〇〇	六八、一五〇	三、一三三	七五、六四二	二、五三三	五八〇、六二八
共 計	三、九七三	三、八三、九〇三	三、三三〇	三、五五、〇三三	一、六六六	三、二五、五〇七

(註) ①印中には青島及膠州灣内貿易に従事する俗に舢板と稱する小型民船の入港一萬七千九百五十三隻(二百六十八萬七千九百二十七担)及出港二萬三千九百九十六隻(三百七十七萬二千四百七十三担)を含みます。

第四節 來往旅客

海路に依る當港往來旅客數は最近山東省内産業の發展及び出入船舶の増加に伴ひて逐年増加の趨勢を示しつゝあり、殊に昭和二年度以降は省内動亂の難を避けて渡滿する勞働者階級の急激なる増加に據つて異狀なる増加率を示しつゝあり。

行先地	出 客		入 客	
	外 人	華 人	外 人	華 人
日本各地	五、九八九	一、一三三	七、三六五	一、〇一〇
朝鮮	一〇六	三、七六三	一、四一五	四、三二六
浦 鹽	一	一	二	一
他 國	三六	一	一〇	一
安 東	一	九、六四五	八	一〇、四七九
大 連	三、七六八	一六、九九五	五、〇四四	一七、一五一
營 口	一	四六八	七	三三五
天 津	三〇〇	二、〇一四	三三二	八、七九八
芝 罘	一	九三	一〇三	三七八
上 海	三、九九〇	一三、六五〇	四、二八一	三三、八三三
其 他	六〇	一、四九四	三三	一三五
内 港 各 處	三	三三、一七三	六二	五七、五六七
計	一四、一六二	三三、一八七	一七、二八〇	三三、〇〇一

年次	日本及朝鮮	他國及香港	上海及其他諸港	合 計
大正八年	一〇、一四九	一、三五八	六三、一六七	七四、六七四
大正九年	一六、八三二	三、七六八	九〇、五九九	一〇八、一八七

最近十年間出客比較表

年次	日本及朝鮮	他國及香港	上海及其他諸港	合計
大正十年	一七、三九九	二、七四四	六、九三三	八、九九五
大正十一年	二〇、五四六	二、七四四	六、〇五〇	八、五五〇
大正十二年	一九、七五九	八七	七、五八九	九、三四五
大正十三年	九、九九	二〇〇	六、七九二	七、八二二
大正十四年	八、三三五	三六六	七、〇〇〇	八、四〇一
大正十五年	一四、五六〇	四、三〇五	一四、三三二	一、一〇一
昭和二年	一一、八四二	九〇	二、五四五	二、六、四六
昭和三年	一〇、九九一	二六	三、八四三	二、四、四四九

最近十年間入客比較表

年次	日本及朝鮮	他國及香港	上海及其他諸港	合計
大正八年	一九、八四六	四、二八八	五、七八六	二、九、九〇
大正九年	三三、六七七	五、二〇五	八、〇九三	一、六、七五
大正十年	一九、〇八二	三、六七	七、七三六	一〇〇、一〇二
大正十一年	一五、三六四	一、九六一	八、一五九	九八、五〇四
大正十二年	一四、四四八	一、四二〇	九、五二五	一一、三三三
大正十三年	一〇、四六六	一、一六三	九、七、五九〇	一〇八、七九九
大正十四年	九、四三二	一、九三三	一一、九〇六	一三、三三〇
大正十五年	八、八三五	八〇一	一三、九〇八	一四、八六四
昭和二年	二二、六四四	四七六	一七、五三〇	一〇〇、六三三
昭和三年	二二、七六六	三三	三、七、五五五	一一〇、一〇三

第五節 輸移入貿易

第一款 對外輸入貿易

昨昭和三年度に於ける當港輸入貨物の總額は七千七百五十九萬九千五百七十四兩にして、之を前年度の輸入額七千四百七十九萬五千八百三十一兩に比すれば二百八十萬三千七百四十三兩の増加にして三七五の増加率を示せり。然れども該輸入總額中外國製品の輸入は四千四百四十九萬七千四百八十八兩にして、前年度に比すれば二百四十萬八千三百三兩の減少を來し是の減少率五%一三を示せり。今其の増減を各國別に就て見るに、日本、獨逸、英領印度、加奈陀等何れも著しき減少を示し、米國、香港、英國等は之に反して増加を示せり。

之を要するに昨年度の輸入額が前年度に比し減少を示せる原因は種々あらんも其の主なるものは濟南事件以後山東省内地にも漸次排日風潮濃厚となり、殊に支那の各地方に於ける組織的排日運動の漸く熾烈を加ふるに至るや遂に山東地方をも驅つて其の渦中に投せしめ山東全省反日會は各地の黨部、反日會を指導して日貨の搬入を阻止せるがため遂に對日貿易に多大なる障害を與ふると共に、膠濟鐵路沿線の我軍駐屯軍以外の地方には各種雜色軍及土匪の蜂起するありて地方民の購買力を減少せしめたるが如き是なりとす。然して最も大なる打撃を受けしは日本よりの輸入額にして昨年度は二千百十一萬五千九

百四十二兩に過ぎず、前年度に比し三百二十二萬三千三兩の減少にして一五%二五の減少率を示せるなり。次に支那の内港に陸揚されたる外國品にして再び當港に輸入されたるもの、額を見るに總計七百七十九萬一千百三兩にして、前年度に比し百四十三萬七千四百五十二兩の増加即ち約二二%六二の増加を示せるが、其の主なる原因は當地との貿易額の大半を占むる上海地方が昭和二年中南北抗爭の渦中に陥り充分なる活躍を爲し得ざりしに反し、昨昭和三年中は比較的順調に推移せるに因るものにして、上海經由の外國品輸入額は本年度六百九十九萬八十四兩に上り、之を前年度に比較するときは百三萬二千三百二十七兩の増加なり。今外國より直接當港に輸入されたる貨物の價額及支那各港を經由して輸入されたる貨物の價額を示せば左の如し。

青島港輸入外國品仕出地別表

(單位海關兩)

仕出地	一九二六年	一九二七年	一九二八年	比較増減
香港	三、五三、四四五	二、七四、七五五	四、〇五、四〇六	〇 一、三〇、六六一
英國	六三三、五八〇	四四八、六三二	七七〇、〇一一	〇 三三一、四九一
獨逸	一、四四、三三三	四、二七、二〇六	一、〇六、六九五	× 三、一九、五一一
和蘭	一九三、四三五	四〇五、一九九	四八二、七四四	〇 三、五九五
米國	三、九一、七三二	四、九五〇、二五七	六、四九、九四五	〇 一、四九、六八八

白耳義	四一、二八八	五七、七九四	九一、八〇〇	〇 三、四〇、六六
佛太利	五二、四七三	二五、〇三六	八四、六四四	〇 五九、六三八
伊太利	二〇、四六〇	二六、六九八	三三、八八九	〇 二〇、一七一
西班牙	1,000	—	—	—
諾威	—	一、五九、五五一	二、〇〇、〇三六	〇 四三、四七五
瑞典	六五、二〇七	三、七九一	八、四八八	〇 四、六三七
露國歐洲港	二八五	—	—	—
同太平洋沿岸港	一一三、一六七	一九五、八〇〇	二五七	× 一九五、五四三
英領印度	二六、三三二	一、三九、〇九一	八〇、三四五	× 一、二四八、七四六
蘭領印度	一八〇、四八三	一一、一一〇	五一八、〇八八	〇 五〇六、九七八
加奈陀	三七四、九九九	三九、五八二	三四、〇元	× 二八五、五五三
比律賓	二、二九二	一三、三三三	八、九六〇	× 四、三七二
新嘉坡	一〇、七〇一	九、九九三	八、〇五五	× 一、五三八
日本	二六、〇五三、四三三	二四、三六、一四五	二二、二五、九四二	× 三、三〇、〇三三
朝鮮	三七、七四二	三九、六八五	三三〇、八八九	× 七八、八四六
希臘	三、四〇〇	—	—	—
暹羅	一八、七五一	四〇、九四四	一三、〇一七	× 二七、九二七
埃國	四〇〇	一、七四四	—	× 一、二七四
瑞西	三、七三	三	一七、〇八七	〇 一七、〇五五
丁抹	三、七七五	一、八七五	三、九七七	〇 一一、〇三一

一九二六年	二七、七七一、八三三	五、二七七	二七、八、七〇〇	三、七、九七七	二七、三、九八、八五五
一九二七年	二八、三、〇、三九六	二、三、六、五五	二、四、六、四九四	四、〇、一〇九	二七、八、〇、二四〇
一九二八年	三三、五、〇、九、七七一	三、〇、〇、三三三	三、七、六、六三三	四、〇、六、六五	三三、一〇、一、〇六六

第三款 内地貿易

輸入されたる外國貨物を更に支那内地に轉送せんとする場合は申告書「Transit Pass to Interior」に「一、パスを添附し、之を内地通過貨物係に届出づれば貨物検査の上相違なき時は通過税を納付し運洋貨入内地之税單、Transit dues Certificate」と稱する子口半税納入済の證明書を發給せらるゝを以て、之を貨物運送の際開港地を去る各釐金局に檢點せしむれば更に釐金を徴收せらるゝこと無きなり、又支那内地より貨物を買出さんとする場合は各所屬領事を経て税關に請求せば税關より買土貨之報單「Transit Certificate」を發給せらるゝを以て、之を携へて内地に入り買出しを爲すことを得るなり。又支那内地に於て洋式機械により製造されたる貨物にして、支那政府の特許を得たるものを支那内地に運搬する場合には所謂單一税を納入することにより外國貨物と同一の取扱を受くものなり。今前記各項の規定に據り昨昭和三年度當地海關を通過せる貨物を示せば左の如し。

子口單使用の輸入外國貨

仕向地	税單數		價額		子口半税	
	昭和二年	昭和三年	昭和二年	昭和三年	昭和二年	昭和三年
山東	一六、六一	一、九、三三	三、七、一、〇、三三	五、〇、二、二九	七、七、一、三、八六六	一六、七、五、〇、二三六
直隸	七、三三	二、五	一、六、九、九、五三	五、八、五〇	三、七、六、七、五五	一、七、七、五、〇〇
甘肅	八	一	五、二、五、一一	一	一、一、六、五、七、六	一
河南	一、八	一	五、七、六、六	一	一、三、九、〇、六、五	一
江蘇	五、六	四	一、七、〇、六、四	三、三、八、〇、八	三、〇、六、九、七八	六、一、四、八、三
安徽	一、九〇	一	五、〇、五、五二	一	一、一、三、〇、三、七、五	一
合計	一八、三、三二	二、〇、六〇	三、九、七、四、二〇	五、六、八、九、七	八、七、四、九、八、二、五	一、七、五、三、三、六、九

單一税則に據る洋式機械製造貨

仕向地	税單數		價額	
	昭和二年	昭和三年	昭和二年	昭和三年
山東	三、四、七	一、四、二、六	四、六、五、九	四、七、一、四、八
直隸	三	六	三、四	四、六
甘肅	一、四	一	三、一、〇、三三	一
河南	四	一	一〇、三、三三	一
江蘇	一、六	四	三、七、一、六〇	三、三、六、三
合計	三、八、三	一、四、七、一	四、四、三、八、六九	四、九、八、八、八

三聯單使用の輸出貨物

仕出地	税單數		價額		子口半税	
	昭和二年	昭和三年	昭和二年	昭和三年	昭和二年	昭和三年
山東	五	元	五〇〇元	三二、三〇〇	三、二六、八〇〇	一、六五、三〇元

第四款 主要輸移入品の解説

次に當港に輸移入さる、貨物の主なるものに就きその概況を解説すべし。

棉花、現時の如く青島郊外に於て紡績工業の發達せざる以前の青島港は所謂山東、河南棉の輸出港として著名なりしも、大正十一、二年頃當地の紡績工業次第に膨張發達を遂げ遂には邦人工場六工場、支那人經營に係る華新紡等合計七工場の設置さるゝあり、是等工場の總錘數は現在廿七萬餘錘の多きに達し、此外擴張計畫中のものも又尠少なからず。惟ふに當地に於て紡績工場設立の計劃をなせる當初は安價なる勞銀と豊富なる山東棉の原料を使用するに在りしも、省内産出の棉花は改良せる一部の米棉種を除き大部分は色彩白色の長所を有すと雖もその纖維短かきに過ぎ、單獨にて十六手、廿手等の太番手物を紡出するさへ不利の點あるを發見し、遂には印棉又は米棉を主要なる原料となし山東棉を混棉用として使用するに至りしなり。その結果として印棉米棉等の當港輸入額は當地紡績工業の發達に伴れ逐年増加の趨勢を辿り、一方當地紡績が漸次卅二手以上の細番手物の紡出に手を染むるに至りし結果、優良棉花の需

要頗に増加し來り従つて當港輸入外國棉は年々其の數量を増加し來れるなり。昨昭和三年度にありては山東棉は概して豐作にして河南、陝西棉等は當市場への直接出廻り殆んど皆無なりしも、當地紡績の原棉供給地として重要な地位を占むる漢口、上海等よりの原棉移入額は前年不況の跡を受けて相場の割安と相俟つて激増を來せしが、外國棉の輸入額は之に反し却つて減少せり。即ち昨昭和三年度の當港輸入外國棉は合計二十二萬三千七百八十五担に過ぎず前年に比し十二萬一千六百十四担を減じたり、就中日本より輸入されし棉花は十八萬九百九十一担にして十一萬七千九十四担を減じたるが、日本よりの輸入棉の大部分は印棉米棉等が運賃の關係上日本を經由して輸入せらるゝものに他ならず。最近支那國內紡績工業の發達は目醒しきものあり、殊に國民政府が全國を統一して以來同政府は近く關稅自主を行はんとするの意圖あるため著しく支那國內工業發達の氣運を醸成するに至り且つ支那政府が近年支那國內産棉花の改良發達に銳意努力せる結果漸次優良棉花の産額を増加するに至り、殊に陝西棉、通州棉等は市場に於て優良棉として印、米棉と並び稱せられ、其需要は年毎に増加し、當地の各紡績業者も製品の上を計る爲め之等優良棉を混棉とするもの次第に増加するに至り、従つて之等優良棉花の輸入は最近漸増の傾向を呈しつゝあり、殊に本年度に在りては前述の如く當地原棉の供給地たる上海、漢口等が前年不況の跡を受けて活況を呈したると印棉及米棉に比し相場割安なりし關係上著しく増加し、本年度當港移入の支那棉は上海より二十三萬七千三百四十九担、其他支那港三萬三千六百八十二担、合計二十七萬

一千三十一担にして前年に比し十一萬三千四百五十三担を増加せり。尙當地紡績筋の原料棉として最も重要視されつゝある山東棉は仲買人並に各紡績筋が濟南その他奥地市場に於て買付け當地に輸送するものにして、當地市場消費高は年によりその數を異にすれども年額約三十萬担以上に上るべし。昨昭和三年中當港に輸移入されたる棉花の數量を見るに、

外 棉 輸 入 額 (單位担)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	二九八、〇八五	一八〇、九六一	×
英國	—	二、三六三	〇
米 國	一、六九八	六、一〇六	〇
其他 外國	三八、四〇六	—	×
上 海	一六、一一〇	三四、三〇六	〇
合 計	三五五、五九九	三三三、七六五	×

支 那 棉 移 入 額 (單位担)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
上 海	一三六、六四六	三三七、四四九	〇
其 他	一八、九三〇	三三、六六三	〇
合 計	一五五、五七六	二七一、一一二	〇

小麥粉 本年當港に輸入されたる小麥粉は外國品二十七萬二千七百四十担にして前年に比し六萬四千八

百三十四担を増加し、支那品は三十五萬六千二百七十八担にして前年に比し一萬六千三百三十四担の減少を示し外國品、支那品を合せて六十二萬九千十八担の入荷を見たり。斯くの如く外國小麥粉の輸入増加を見たる原因は省内小麥の不作に基く原料不足に依り遂に濟南製粉工場は休轉するに至り、一方從來天津を經由して濟南市場に入荷せる日本麥粉は同地に於ける日貨排斥の影響を受けて入荷なく全部當地を經由する事となりしを以て當地輸入外國粉の増加を來せるなり。

外 國 製 粉 輸 入 額 (單位担)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
日 本	六六、〇〇〇	二〇、八四一	〇
米 國	八〇、八六一	一三三、五九〇	〇
香 港	四、八三四	—	×
其 他 外 國	三三、六七七	八、三三五	×
上 海	一〇四	九、五八四	〇
大 連	三、一三三	四九〇	×
其他 支那 港	九七	—	×
合 計	一〇九、七〇八	一四一、七六〇	〇

支那製麥粉移入額 (單位担)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
上海	三、八三三	三、四五五	×
芝罘	一、八六六	二、六一	×
大連	一、六三三	八、九二九	○
其他支那港	六〇元	一、七六八	○
合計	七、九三二	三、五六一	×

白米、從來當港に輸移入さるゝ白米は支那人の常食たる廣東米を第一とし、日本人の嗜好する朝鮮米、滿洲米、江蘇米等之に亞ぐの狀勢に在り。本年中外米輸入總額は十一萬九千九百六十四担にして前年に比し四千三百二十六担を減少し、移入支那米は總計八萬六千六百六十二担にして前年に比し三萬四千九百五十六担を増加せり。

外米輸入額 (單位担)

輸出地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	九、七六六	一三、九三三	○
香港	一〇七、九五二	一〇五、一八六	×
其他外國	七、〇六三	一、八二五	×
合計	一一六、八八一	一一九、九四四	×

支那米移入額 (單位担)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
上海	六、六七二	四、四八四	○
芝罘	六九一	一	×
大連	四、〇三三	三、七一三	×
其他	九一	五、四九五	○
合計	一一、〇六七	一三、一七三	○

紙卷煙草、昭和三年中當港に輸移入されたる紙卷煙草は外國品一千七百六十二萬三千本、支那品四萬一千四百八担にして、外國品は前年に比し八百四十五萬八千本を減じたるも、支那品は同じく前年に比し三千二百七十三担の増加を見たり。是れ山東省内住民が連年戰亂の影響を受けて購買力が減じたる結果高級煙草の輸入數量減少せるに據るものなるべし。

外國品紙卷煙草輸入額 (單位千本)

輸出地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	一	八二〇	○
英國	四、九四五	六、四八〇	○
米國	五、五	三、〇七〇	○
其他外國	一一〇	一、五	○

輸出港	支那品紙巻煙草移入額 (單位担)		増減比較
	昭和二年	昭和三年	
上海	19,031	5,180	X
大連	6,62	1,601	O
其他支那港	710	2,45	X
合計	16,361	17,231	X

輸出港	電氣材料及附屬品		増減比較
	昭和二年	昭和三年	
上海	20,464	35,937	O
芝罘	2元	335	O
大連	1,868	2,394	O
其他	5,754	2,742	X
合計	38,110	41,468	O

電氣材料及附屬品 従前當港に輸入されし本品は年々僅に五、六萬兩に過ぎざりしが日本管理時代に
 入り青島在住邦人の増加は自然本品の需要増加を來すと共に、時日の遷移は次第に山東に於ける文化施
 設の發達を促し、從來殆んど顧みられざりし本品も次第にその輸入額を増加し大正九年には十六萬六千
 百九十兩の輸入を見前年に三倍するの盛況を呈せり。爾來一般生活程度の向上と共に本品需要も亦年を
 逐ふて増加し來りしが昨昭和三年度に於ては、内亂の影響を受けて前年に比し三萬一千九十一兩を減
 じ十九萬一千八百五十兩を輸入せり。然りと雖も今後奧地一帶の生活程度向上と當地工業の發達とは相
 共に本品の需要を増加するに至るべく今左に本年度に於ける本品の輸入額を示さんに、

電氣材料及附屬品輸入額 (單位海關兩)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	19,997	25,833	X
英國	1,333	2,885	O
美國	4,630	3,557	X
香港	1	463	O
其他外國	11,011	3,031	O
上海	43,791	25,007	X
大連	11,305	730	X
其他支那港	584	2,44	X
合計	111,021	121,850	X

機械油 當港輸入の機械油は當地に於ける紡績業及び奧地に於ける諸工業の發達に伴れ年々増加の趨
 勢を辿り來れるが殊に昨昭和三年度に於ては日本政府の山東派兵あり之等軍需用としても相當多量の需
 要を來し同年中六十八萬六千五百五十二噸の輸入を見、前年に比し一躍四十萬九千六百十四担を増加せ
 り。輸出港中特に増加を來せるは米國にして本年中三十六萬五千九百四十七噸の輸入を見、三十三萬二
 千三百四十二噸の増加を示し上海二十一萬五千二百二十一噸、大連九萬七千八百八十二噸と日本を除く各地

は何れも多少の増加を示せり。

機械油輸入額 (單位噸)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	一八、七三三	一〇、〇〇元	×
米 國	三三、六五五	三三、九七七	○
香 港	五〇	—	×
上 海	一八四、〇四四	二一〇、五三一	○
大 連	三三、九三〇	九七、八八三	○
其他支那港	一八、〇七七	二、一七三	×
合 計	二七六、九六一	六六、五五二	○

石油、當地に輸入し奥地一帯に消費さるゝ石油は年々相當數量に上れるが品種は米國品を最多とし、スマトラ品之に亞げり。本年中當港に輸入されたる米國油は箱入及撒積を合せ一千四百二十二萬三千六百四十四噸にして、前年に比し十一萬四千二百二十噸を減少し、スマトラ油は合計三十四萬二千五百一噸にして前年に比し十一萬一千五百一噸を増加せり。

石油輸入額 (單位噸)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
米 國	二、三三九、七九〇	四、五七、一八二	○
香 港	五五、六四五	—	×
其他外國	—	一七、〇七六	○
上 海	三三〇、三七六	一六五、四八八	○
大 連	一〇〇	一、〇〇〇	○
其他支那港	〇	—	×
合 計	二、三三九、七九〇	四、六九、一八二	○

(撒積米石油)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
日 本	三、五〇〇	—	×
英 國	六六、三三五	—	×
米 國	九、九九、三七四	六、五九、一八四	×
其他外國	—	一、七九、七六五	○
上 海	一、〇〇、〇七五	三、四、〇七五	×
其他支那港	—	一、〇〇、三三三	○
合 計	一一、〇〇、一七四	九、五三、四八七	×

(箱入日本石油)

日本	101,800	110	×	101,570
計	101,800	110	×	101,570

(箱入スマトラ石油)

上海	131,000	177,000	×	4,000
計	131,000	177,000	×	4,000

(撒積スマトラ石油)

米	—	133,849	○	133,849
上海	—	23,653	○	23,653
計	—	157,502	○	157,502
總計	14,671,048	14,565,895	×	105,189

揮發油類 近年青島を中心としたる山東省一圓の工業勃興と自動車類の激増とは著しく本品の需要を増加せしめ當地に入荷さるゝ數量も年々増加の趨勢を辿りつゝあり、殊に昨昭和三年度は我日本軍の膠濟鐵路沿線一帶に駐屯するありて是が消費額又尠ならず、總額百十六萬九千二百二十七噸の入荷あり前年に比して四十六萬三千五百二十二噸を激増せり。

揮發油類輸入額 (單位噸)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減	
英國	79,980	—	×	79,980
米	317,010	683,755	○	366,745
其他外國	—	155,643	○	155,643
上海	1,737,105	2,812,630	○	5,525
大連	211,420	377,140	○	15,560
其他支那港	10,000	—	×	10,000
合計	705,605	1,169,327	○	463,722

ア、ニリン染料 支那に於ける染料の需要は年々増加の傾向を有し殊に「アニリン」の如き染衣料は急激の増加を示しつゝあり、就中獨逸よりの輸入額を最多とし、最近獨逸が其の國力恢復に伴ひ東洋に於ける他國の商圏を漸次侵蝕しつゝあるは事實にして殊に染料界に於ける獨逸の活躍は目醒しきものあり本年度輸入アニリン染料中外國より輸入されしものゝ數量が前年に比し倍加せるは全く獨逸の活躍に據るものなり。本年中の本品輸入は總計四十萬五千五百二十四兩にして前年に比し八萬五千三百六十一兩を増加せり。

アニリン染料輸入額 (單位海關兩)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減	
日本	10,619	7,133	×	3,486

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
英國	一、三六八	三、六〇〇	○
米國	—	七三三	○
香港	—	—	×
其他外國	三、五五一	三、六八〇	○
上海	一、四〇一	二、七、五二一	×
大連	一、九五五	三、八七五	○
其他支那港	六、四七九	一〇、七四二	○
合計	三三〇、一三五	四〇五、五五〇	○

縫針 本品の輸入は嘗て日本製品の盛況時代を現出せしことありしも品質の關係上其後商況延びず需
要減退を來せしが最近又も邦商の努力により次第に本邦商品の販路を挽回しつゝあり、本年中日本より
輸入されし額は二億二千二百十二萬七千本にして前年に比し百五十萬三千本と僅かに減退を示せり。

手縫針輸入額 (單位千本)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	三三、六〇〇	三三、三二七	×
其他外國	五、〇〇〇	—	×
上海	七、七、六九五	五、五、〇〇〇	×
大連	一〇、〇〇〇	—	×

其他支那港	—	五、〇〇〇	○
合計	三六、三三五	三六、二二七	×

砂糖 砂糖は當港重要輸入品の一にして最近支那人の生活程度向上に伴ひ年々其の額を増大しつゝあ
り。一昨昭和二年度に在りては山東省内が戰亂の渦中に陥り住民が戰爭に慣れざりしたため殆んど買据へ
の態にて品薄を告げたるも昨昭和三年度に入りては住民も漸く戰亂に慣れ且相場次第に下落の歩調を辿
り庫渡標準物相場は年初八兩見當より六月頃には七兩見當となり年末には更に六兩見當に下押せる結果
住民の購買心を喚起し相當の輸入を見たるものゝ如く、此外青島を除く各地が日貨排斥の影響を受け漢
口、天津の勢力範圍たる黄河上流地方にも多少はけたる模様にして年末には増税の見越輸入相當にあり
結局昨昭和三年中當港輸入砂糖總額は六十三萬二千六百担にして十九萬三百八十二担を激増せり。然し
て之が糖種は日本、香港の兩種を主とし此兩種は當市場に於て多年の賣込みにより相方堅實の地盤を有
し常に競争的立場に在り、從來香港糖は赤に、日本糖は白糖、精製糖に其の分野を畫したるの觀ありしも
最近香港糖の白糖及精製糖の輸入次第に増加し日本糖の分野を浸蝕しつゝあり、本年度統計によれば香
港よりの赤糖入荷は十八萬四千六百七十七担なりしに對し日本よりは僅に二萬一千四百七十二担の入荷
を見たるに過ぎずして到底日本糖の窺視を許さざる状態を持せしのみならず、白糖に於ても香港よりの
輸入七萬三千二百七十九担に對し日本よりの入荷は一萬六千六百三十担に過ぎず。精製糖に於ては香港

より一萬四百五十担の入荷ありしに對し日本よりは二十七萬八千七百一担の輸入を見本品に於ては遙かに香港糖を壓倒せり。

砂糖輸入額 (單位担)

輸出港	昭和二年		昭和三年		比較増減
	金額	担	金額	担	
日本	三三,九元	〇	三〇,九元	〇	
香港	一七,三六八	〇	一八四,六七七	〇	一二,二八九
上海	一,九〇四	×	一,二六	×	七五
其他支那港	一八一	×	一八一	×	一八一
計	一七五,〇〇五	〇	二〇七,二七七	〇	三三,二七二
日本	一四,一〇七	〇	一六,六〇〇	〇	二,四九三
香港	四,三三三	〇	七,三九七	〇	三,〇六四
其他外國	一	〇	四九四	〇	四九四
上海	八七	〇	一,三七一	〇	一,二八四
大連	三五	×	三五	×	〇
計	六,六六一	〇	九,一九九	〇	三,五三八

(白糖)

(精製糖)

(氷砂糖)

輸出港	昭和二年		昭和三年		比較増減
	金額	担	金額	担	
日本	一七,二六九	〇	二六,七〇一	〇	一〇,四三二
英國	一	〇	七,七三三	〇	七,七三三
米國	二	〇	二	〇	〇
香港	二,九七〇	×	一〇,四四〇	×	七,四七〇
上海	一,四九二	〇	八,三六一	〇	六,八六九
大連	一	〇	二四〇	〇	二四〇
計	一八四,九〇〇	〇	三〇五,四三七	〇	一二〇,五三七
日本	八,九五七	×	三,九五一	×	五,〇〇六
香港	八,六四八	〇	一一,九七七	〇	三,〇四九
其他外國	一,九五三	〇	一〇,〇〇九	〇	八,〇五六
上海	八〇五	〇	一,六五五	〇	八五〇
大連	五	×	三	×	二
其他支那港	一	〇	一三	〇	一二
計	一〇,四一八	〇	二七,四八三	〇	一七,〇六五
總計	四一,七三四	〇	三三,一〇三	〇	一〇,三八二

生、金、巾、從前當港に輸入されし本品は年額約十三、四萬反に上り頗る盛況を續けたりしも最近支那國

内工業の發達に伴れ支那品の移入増加すると共に奥地濰縣方面に於ても細綾類の製造工業年毎に旺盛に赴きつゝあり、従つて當地輸入の本品は次第に加工品のみに限らるゝに至り其の輸入數量は年毎に減少を辿りつゝあり。本年當港輸入額は總計五萬五千五百四十一反にして其の中日本よりの輸入は四萬四千七百七十七反を算し前年に比して七千四百七十七反を増加し又上海よりは英日兩品を合せて八千四百五十三反の入荷あり同じく前年に比し三千二百五十四反を増加せり。

輸出地		昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	三、七、二、四〇	四、四、七、七	〇	七、四、七
上海	五、一、九	八、四、五、三	〇	三、二、五、四
大連	—	一、五、七、一	〇	一、五、七、一
其他支那港	—	八〇〇	〇	八〇〇
合計	四、三、四、三	五、五、四、一	〇	一、二、〇、一

生、シ、ー、チ、ン、グ、本品は當地紡績工場に於て生産さるゝもの鐘紡一ヶ月九百俵、大日本紡同じく一ヶ月九百俵に上り兩工場製品を以て充分當地の需要は充されつゝあるため現在當地に輸入さるゝは相場の比較的低廉なるもの又は當地工場に於て製造し能はざるものに限られたるため本品の輸入額は年々減少の経路を辿りつゝあり。

輸出地		昭和二年	昭和三年	比較増減
上海(米品)	—	五	〇	五
同(英品)	二、〇、五	三、五	×	一、五、〇
同(日本品)	四〇	二、〇	〇	八〇
日本(英國品)	四、四〇	—	×	四、四〇
同(日本品)	一、五、七、〇	二、三、〇	×	一、三、四、〇
計	一、八、五、五	二、七、五	×	一、五、七、〇

晒、金、巾、前項記載の如く當地生シーチング類の輸入が年々減少の経過を辿りつゝあるに反し、本品の如き加工綿布は次第に順調の商況を辿りつゝあり本年度日本よりの輸入は六萬二千九百九十四反にして前年に比し四千九百八十一反の増加を示したるも、上海を経由して入荷せる英國品は二萬四千二百五十三反を減少せるを以て結局總額に於て一萬五千七百七十二反の減少を現せり。

輸出地	昭和二年	昭和三年	比較増減	
日本	五、七、三、三	六、一、五、四	〇	四、九、八
上海	五、三、五、五	二、八、三、三	×	二、四、二、五

大連	三〇	三、〇八〇	〇	三、〇五〇
其他支那港	五〇	五〇〇	〇	四五〇
計	二九、八六	九四、〇六	×	一五、七三

綿糸 當港は従前綿糸の輸入港として著名なるものあり、大正五年には日本品二十二萬餘担、印度品二萬五千餘担の輸入を見て非常の盛況を現せしも、大正六年日本の青島管理時代に於て先づ内外綿株式會社の青島進出と同時に同工場製品は省内外の膨大なる需要力と相俟て未曾有の賣行を示し常に製品不足を告ぐるの状態を續けたると共に其の反響として輸入は漸次減退し大正十年以後大日本紡を始め鐘紡、富士紡、日清紡、長崎紡の各邦人工場及び華新紡工場の建設さるゝあり、之と共に印度綿糸は大正十一年以後殆んど其の姿を絶ち日本綿糸も亦細番手物を除き次第に減少の趨勢を辿りつゝありしが最近に至りては鐘紡工場製品の花蝶(卅二手)華新紡工場の製品五子(四十二手)等細番手物の紡出さるゝあり此の傾向は年と共に愈々著しく昭和二年中には三千三百六十八担に衰退し、更に本年度に入りては僅かに二千二百担の入荷ありしに過ぎず、然れ共此の輸入不況は當市場の衰退と見るべきに非ず青島に新設されたる紡績工場は其數七工場に達し運轉錘數も二十數萬錘の多きに至れる今日上述の如き輸入の減退を示せるは寧ろ當然のことなりとす、併し乍ら當地の紡績は主として支那棉を主要原料とする太番手物を紡出するものにして偶々上述の如き卅二手又は四十二手等の細番手物を紡出するものあれどその産額は到底全需要額を充すに足らず細糸に對しては依然外國品輸入の餘地を存するものにして從來の如く日本よりの輸入に俟たざるべからざる状態にあり。當地は前述の如く最近紡績工業の發展に伴れ時としては當地工場製品さへ其の供給過剰に苦しむことあり其の結果漸次太番手綿糸の輸出を企て現在滿洲、天津、上海、香港を始め遠く南洋等の各地に向け輸出せらるゝに至れり。

輸出地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本(日本品)	三、一〇一	二、二九	×
上海(日本品)	二七	三	×
計	三、三六八	二、三〇〇	×

葉、鐵板 當港に輸入せらるゝ本品は主に英、米兩國品にして日本品之に亞がり。本年度の輸入總額は二萬三千九百八担にして前年に比し四千五百四十三担を増加せり。

輸出地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	一、一五一	一、一〇三	〇
米國	三六	一四〇	×
香港	一七一	三、五九九	〇

其他外國	二〇六	三一五	○	一〇七
上海	一四、七三	一三、八〇	×	九五
大連	三〇七	六七	○	三二〇
計	元、六五	三、九八	○	四、五三

古、鐵、屑、古鐵屑は當地及び濰縣地方に盛なる鐵工業の材料として輸入さるゝものにして、日本よりの輸入を最多とし香港之に亞げり。

古鐵屑輸入額 (單位担)

輸出地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	六、三五	四、〇六	○
英國	一	一〇	○
香港	一九、四五	二四、四四	○
上海	六、四三	七、五七	○
大連	一	四八	○
其他支那港	二	一	×
合計	三、〇四	八、七五	○

木材、軟木材の當港輸入は大正七、八年頃より十一年末に至る所謂青島市發展時代には非常なる盛況を呈したるも爾來當地方の建築工事一段落と共に輸入半減の悲況に陥りたり。殊に大正十五年以來運輸

機關の不圓滑と内亂に依る需要減退にて殊に不況を示し、昭和二年度僅かに壹千二百十九萬二千平方呎の輸入を見たるのみに過ぎざりしも、本年度は稍好況を呈し二千四百三十萬四千平方呎の輸入を見て前年に倍加せり。

堅木材も亦奧地炭坑の支柱及び鐵道枕木等の需要一段落を告げしため本年も依然不況を辿り九百五十二萬八千立方呎を輸入し前年に比し僅かに百五十六萬六千立方呎を増加せるに過ぎず。

木材輸入數量

軟木材 (單位千平方呎)

輸出港	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	六、四一	一、六三	○
英國	一	七	○
米國	五、四五	一、六〇	○
香港	五	一	×
上海	二七	六二〇	○
大連	二	七	○
其他支那港	一	三五	○
計	三、九三	一、五〇	○
日本	六、三二	九、四八	○

堅木材 (單位千立方呎)

米 國	其 他 外 國	上 海	大 連	計
一、六五	一	一、〇	一、〇	七、九三
三	二〇	一、四	一	九、五六
×	〇	〇	×	〇
一、〇	二〇	九〇	七	一、五六

洋灰、當港に輸入せらるゝセメントは大正七、八年頃の青島附近建築界の旺盛時に當りては上海、大連、朝鮮、日本、獨逸等の各處より旺んに輸入されたるものにして其の額十四萬一千餘担に達したることありしも爾後建築界の一段落と共に需要減退し本年中僅かに一萬九千二百三十四担の入荷を見たるのみにして大部分日本、上海及び大連より輸入せり。

洋 灰 輸 入 額 (單位担)

輸 出 港	昭 和 二 年	昭 和 三 年	比 較 増 減
日 本	一五、五六	一七、六七	〇 二、一〇
其 他 外 國	一	三	〇 二
上 海	一	九六	〇 九五
大 連	四六	五八	〇 一二
其 他 支 那 港	九	一	×
合 計	一六、〇五	一九、三四	〇 三、二九

石炭、由來山東省は石炭の產地として名あり従つて石炭は當港輸出主要貨物の一なりと雖も山東炭は揮發分少く従つて用途に依りては日本炭又は撫順炭等有煙炭の使用を有利とすることあり。これ當港が石炭輸出港として著名なるにも拘らず常に多少の日本炭又は撫順炭を輸入しつゝある所以なりとす、本年度當港輸入石炭數量は合計三萬七千九百九十六噸にして前年に比し二萬百五十噸を減少せるが、是れ本年中我國の山東出兵に依り膠濟鐵路が全く安全にして兵亂に累せられしこと少く、従つて鐵路の輸送狀況頗る圓滑に推移し充分山東炭を當地の需要に充つることを得たるに依るものとす。

石 炭 輸 入 額 (單位噸)

輸 出 地	昭 和 二 年	昭 和 三 年	比 較 増 減
日 本	一一、九四三	一一、〇八七	×
上 海	二七八	二〇七	×
大 連	三、一〇一	一七、四〇一	×
其 他	一四、七三五	九、三〇〇	×
合 計	五八、二四六	三七、九六六	×

磁器、最近省内住民の生活程度向上に伴れ上等磁器類の需要次第に多く、支那内地製品を以てしては到底彼等の満足を得る能はざるを以て茲に外國品の入荷を見るに至りしものにして殊に最近日本に於け

る陶磁器界の進歩發達は著しきものあり従つて日本よりの輸入額は年々増加の傾向あり。今年度の輸入額を見るに合計七萬六千十四兩にして前年に比し一萬三百六兩を増加し、中日本よりの輸入は七萬二千三百七十七兩にして九千九百十四兩を増加せり。

磁器輸入額 (單位海關兩)

輸出地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	六三,四六三	七三,三七七	○ 九,九一四
米國	二四	—	× 二四
其他外國	一,四六〇	二,二四〇	○ 六八〇
上海	一,五九六	一,二七〇	× 三二六
大連	三三三	三三六	○ 三
合計	六五,七〇八	七六,〇一四	○ 一〇,三〇六

青島港重要輸移入品數量比較表

(輸入外國品)

品名	單位	昭和二年	昭和三年	比較増減
生金	反	四二,四三九	五,四六一	○ 一三,一〇一
生シーチング(米國品)	同	—	五〇	○ 五〇
生シーチング(英國品)	同	二,七四五	二五	× 二,五二〇
同上(日本品)	同	一五,七七〇	二,四四〇	× 一三,三三〇

木綿及細綾木綿(米國品)	反	八〇	—	× 八〇
同上(英國品)	同	二六〇	八〇	× 一八〇
同上(日本品)	同	一,九六〇	二,九〇八	○ 九四八
生天	同	五〇	—	× 五〇
同上(英國品)	同	一八,三三〇	一五,〇〇四	× 三,三二六
同上(日本品)	同	一四,六五〇	七,五四一	× 七,一〇九
綿フランネル	同	一〇九,八六八	九四,〇九六	× 一五,七七二
晒金巾及シーチング	同	三	三五	○ 二九三
晒雲齊及ジーンズ(日本品)	同	三,四五三	二,二〇六	× 一,二四七
晒天竺及メキシカン(英國品)	同	一,四四七	六二	× 一,三八六
同上(日本品)	同	九,七八五	三,八〇一	× 五,九八四
薄地金巾寒冷紗モスリン	同	五,二四一	五,二五九	○ 一八
染絹	同	三,三三三	四六,〇二六	○ 一三,四七三
染雲齊及ジーンズ	同	五,〇九二	二四,三九一	○ 三〇,七〇一
緋金巾及染天竺	同	一八,六五八	二,七二五	× 一五,八三三
綾	同	一八,三三六	二九,五五五	○ 一〇,二一九
サチオン、イタリアン及模造ベネチアン	同	六四	三,一三〇	○ 二,四八六
天津斜紋織	同	五,七四八	二,二四九	× 三,四九九
斜紋織	同	一九,二二四	三,三〇三	○ 一四,〇八九
斜紋織及サージ	同	五,一九三	一〇一	× 一,〇九一
十字斜紋織	同	—	—	—

鐵帶	鐵釘	鐵類	上記以外ノ古鐵屑	鐵片、鐵板	錫鍍金板	鐵針	鋼鐵竿	器具鋼及セシマイ	亞鉛引鐵板	鉛塊、鉛棒	若日、寒天	海參	鹽鯨	昆布	バター	煉乳	醬油	雜穀	小麥粉	
担	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三、二六八	一、一三〇	六、一六四	一九、三六五	三、七四五	五、二七七	二八二	六五八	一六、一一二	四、九六二	八七〇	一、〇三三	三、四三〇	三〇、八六九	三、四〇三	四、五三二	九三五	一、四八一	三、四〇〇	二、四九〇	二〇七、九〇〇
四、一八八	二、三三三	八、七七五	三、九〇八	五、五二八	六〇八	三九二	五六一	一九、二六七	三、七三二	九四三	二九二	三、〇二八	三、四八八	三、二四	一、七〇七	二、六三三	三、四一	二、九六四	二、七二、七四〇	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九二〇	九〇三	一九、六一	四、五三三	三、五三三	四、六六九	一一〇	九七	三、〇五五	一、一〇〇	七三	七七一	六、六五	一八、八六一	一三八	七三二	一、一九一	一	四、三三六	六、四、八三四	

四五

サテーン、ドリル	經綿、縞子	ホプリン及同琥珀織	ヴェネテイヤン	晒染綿フランネル等	捺染薄地金巾	寒冷紗、モスリン等	捺染綿縞子イタリヤン	綿手巾	綿花	綿縫糸	綿糸	新舊麻袋	絹綿交織縞子	毛織綾吳呂	毛絲類	眞鍮片及板	眞鍮線	銅線及板	鐵線	鐵片	鐵屑	
反	同	同	同	同	同	同	同	打	担	担	担	担	斤	反	担	同	同	同	同	同	同	
一三、六六七	一三、三三三	一、二五三	三、九二二	三、七三二	一、三、七七	一、七、〇一九	一八、〇二八	三、四、五、五九九	一九、八九九	三、三、六八	二七、八二四	二八、三、五三	六七	六三	二二	二四六	六、七四	二、六八三	二八、四六二	同	同	
一、八、五、三五	九、二八八	一、六九七	三、七三三	四、三、四六	一、五、一、六九五	九、〇〇六	二、一九六八	三、三、七、八五	一八、一、七三	二、一、〇〇	一八、三、四〇	三、三、九、七	三	一、一、六〇	一九一	三、五〇	六、五四	三〇、三、三四	一九、九二二	同	同	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五、八、五八	三、〇八五	四、四五	一九九	一〇、〇、五	二、〇、三	八、〇、三	六、〇、〇	三、三、一、四	一、一、七、七	一、一、六、八	九、四、七、四	五、三、六	五	五、三、九	一〇、四	七、五、一	九、五、四、九	同	同	同	同	

四四

箱入米石油	二、九五、〇九一	四、六〇、七四八	〇	一、七五、六五七
撒積米石油	一、四〇、一九三	九、五三、四一六	×	一、八六、七七七
箱入日本石油	一〇一、八〇〇	一三〇	×	一〇一、五七〇
箱入スマトラ油	三三、〇〇〇	一八七、〇〇〇	×	四、〇〇
撒積スマトラ油	—	一五五、五〇一	〇	一五五、五〇一
機械油	二七、六三六	六八六、五五二	〇	四〇九、六二四
洗濯石鹼類	九、三三三	一一、〇〇一	〇	二、九六九
化粧石鹼	六、四〇〇	五三、三七七	×	九、一四三
バラフィン類	七、二七七	一五、六三二	〇	八、三七四
普通印刷用紙	八、一八五	九、一五四	〇	九、六九
西洋紙	二八、八七六	二、八五五	×	七、〇四一
包裝用紙	一四、二九	一四、九四	〇	六三
印刷用紙	五、七三四	一〇、二六	〇	四、四八二
硬木材	七、九六二	九、五八	〇	一、五六六
軟木材	一三、一九二	二四、三〇四	〇	一、一一二
木炭	四、六二七	三、九四八	×	六、七九
石炭	一、九四三	一、〇八七	×	八、五五
磁器	六五、七〇八	七六、〇四	×	一〇、三〇六
磁器	三〇、九五五	三三、一八八	×	八、七六七
硝子器、水晶器	一四、〇二二	一七、七八四	〇	三、六八二

四七

甘橘	担	一三、六〇〇	〇	三、〇四一
胡椒	担	六、七四	〇	七、八九九
朝鮮兩種野菜	担	六、九七四	〇	二、六一
赤砂糖	担	一七五、〇〇五	〇	三、一七一
白砂糖	担	六、六一	〇	三〇、二九八
車砂糖	担	一八四、六九〇	〇	三〇、二九八
氷砂糖	担	三〇、四八	〇	七、〇六五
樽詰日本酒	打	四、〇三八	×	一、一四三
樽詰ビールサイダー	打	三、五九六	×	一、四三六
及果物酒類	打	二六、〇八一	×	八、四五六
卷煙草	担	四、九四八	×	六、九八八
曹達	担	一、三八九	〇	一、〇三七
苛性曹達	担	一、三、四四七	〇	五、六四
曹達調製品	担	八四、五九七	〇	二四、一〇八
火酒、酒精類	担	三〇、一六三	〇	八、五、六一
アニリン染料類	担	七、七四六	×	七、〇三三
人造藍	担	一〇、五九	〇	一〇、三〇一
香水及泥膏	担	一、〇一四	〇	一、五
紅丹、鉛白、黃丹	担	三六	〇	八
蠟燭	担	七〇五、六五五	〇	四、三、五三三
揮發油	担	—	〇	—
石腦油	担	—	〇	—

四六

品名	單位	移入支那品		比較増減
		昭和二年	昭和三年	
硝子板	百平方呎	一、四九九	三、五二六	○
洋灰	担	一六、〇八五	一九、三三四	○
蓆類	枚	六八、九六六	六〇七、二七三	×
其他蓆類	同	一〇五、〇五七	九八、八一〇	×
各種ボタン類	十二打	一〇三、一〇三	九五、五五八	×
手縫針	千本	三三、三五五	二八、二二七	×
燐寸(小)	哥	二四、七五〇	一六、七七三	×
燐寸(大)	同	五五、〇九九	四一、七七〇	×
時計類	價	三五、八〇四	四〇、七七三	○
藁繩	担	一八、三七七	一三、二二二	×
電氣材料及附屬品	價	三三、〇四一	一九一、八五〇	×
ランプ及部分品	同	六五、四四四	五四、八八九	×
高梁	担	一、九四、〇六一	二、二九、二二一	○
蜀黍	同	三六、七六一	一九六、一七六	×
米穀	同	五、二〇六	八六、一六三	○
小麦	同	一四、三八三	三九、四六八	○
棉花	同	一五、七七八	二七、〇六一	○

小麥粉	担	三三、四三三	三五六、二七八	×
桐油	同	八、三六六	九、四四一	○
大豆粕	同	二二、二一八	六九、四九九	×
雜色麥稈眞田	同	二、四七〇	六〇八	×
白色麥稈眞田	同	九三	二五五	○
赤砂糖	同	三六六	二	×
白砂糖	同	一〇四	三三〇	○
酒	同	三、三九四	二、二二三	×
茶	同	二、七三三	三、三三三	○
煙草(刻ミ)	同	二八五	一四	×
綿織布	反	二九	一	×
縞綿織布	同	一、三三〇	八五〇	×
金巾斜紋織	担	九四七	八四	×
ナンキンス	反	三、一九〇	六八、三九七	○
晒金巾及シーチング	同	一、三六六	三、七六一	○
綿製品、生綿糸	担	四七五	三	×
麻布	同	四七一	二八八	×
精製麻布	同	一〇一、一〇〇	一、〇三三	×
其他織物麻袋類	反	一〇、〇二五	三、二五三	×
同上	担	七	三	×
絹布	同	一七	三	×

生	担	六	五〇	六
黃	担	一三九	一三三	六
竹	同	二、九九六	一、〇五〇	×
竹	同	五、六三〇	四、七、八二	×
竹	價	四、三〇〇	二、六、九〇九	×
石	噸	九、九七一	二、一、五八一	〇
白	担	六、三二九	七、八、五五四	〇
白	同	八、四、一〇六	七、二、六八	〇
白	同	一〇、七、七	一〇、七、三三	〇
紙	同	四、三、三三	五、六、七、五	×
硬	立方呎	一〇、六、九〇	五、一、一八	×
同	價	六、七、七九	一、七、三、三三	×
軟	平方呎	二、七、六九	七、二、二、三三	〇
同	價	一、七、三、〇〇	一〇、五、〇九	×
木	同	一、三、八五	二、九、九六	〇
礎	担	二、一、〇九	一、七、三、三	×
書	同	六、七、〇一	三、四、六、四	×
蠟	同	四、五	七、五	〇
粗	同	一、八、五三	三、五、五	〇
精	同	三、八、二、五	四、一、四、〇八	〇
卷	同	八、三、九	五、〇	×
紙	千本	八、三、九	五、〇	×
製	價	六、六、四、六八	八、五、四、二七	×
藥	担	二、一、三二	四、一、三二	〇
糖	同	五、一、七二	四、六、七、七	×
家庭用及洗濯用石鹼	同			×

第六節 輸移出貿易

第一款 概況

昭和三年度の當港輸移出貿易は總額六千四百六十九萬四千二十四兩にして、前年度の七千四百七十萬四千二十八兩に比し一千一萬四兩の激減即ち約一三%三九の減少率を示せり。其の中外國諸港に輸出せられたる額は二千六百二十二萬三千二百十兩にして前年度に比し一千八十二萬四千三百八十七兩即ち二九%一三を減少し、支那諸港への移出は三千八百四十七萬八千四百四十四兩にして八十二萬四千三百八十三兩と僅に二%一六の増加を示したり。由來青島港の輸移出貿易は山東奥地の開發並に輓近歐洲財界の恢復と相俟て順調なる發達を遂げ來り年々増加の趨勢を辿り來りしも、昨昭和三年度に於ては所謂濟南事件の勃發するあり殆んど全省を擧げて戰亂の渦中に投じ之が爲に影響を蒙りし事僅少ならず、殊に濟南事件以後支那各地方に起れる猛烈なる組織的排日運動は遂に山東地方をも驅つて其渦中に投せしむるに至り、初秋の候各種土産物の出廻期に際會するや山東全省反日會は周到なる排日計畫を企圖し日支交渉の推移

に伴れて牽制的に其深刻の度を現し來れり、即濟南府を繞る齊河、長清、嶺山に最も力を注ぎて排日を試み以て濟南の咽喉を扼して經濟的の命を制せんとし或は膠濟鐵路沿線の要地を占據して該地方縣黨部、反日會を指導し日貨の搬入は勿論奥地土産の濟南或は沿線主要都市の進出を阻止するの舉に出でたるがため、遂に本年度輸出入貿易に甚大なる影響を與ふるに至りしなり。山東省土産物の大宗たる落花生は本年度作柄前年に比し良好なりしも奥地方面反日會の搬出禁止に依り出廻り高減少を來し、落花生に於ては一萬一千八百二十六担を増加せるも落花生實に於て八十萬五百六十四担の激減を示し、落花生油に於ても亦十二萬六千七百四十三担の減少を示せり。鶏卵、牛肉、葉煙草、桐材等は何れも對日輸出品の大宗として動すべからざる地歩を有するものにして、本年中桐材及葉煙草が僅かに増加したるを除き他の重要輸出品は何れも減少せるを以て對日輸出入貿易總額も遂に前年の一千六百三十一萬五千五百五十六兩に比し二百七十七萬四千四百四十七兩を減じ一千三百五十三萬六千四百九兩となれり。以上の外人毛、石炭、骸炭、銅塊等に於て僅に増加を來せるも其他の輸出品に在りては殆んど全般的に亘りて減少を來せる爲遂に總額に於て一三%餘の減少率を示すに至りしものとす。

次に支那諸港への移出を見るに長江筋の各地が前年南北抗爭の影響を受けて不況を來せるに反し本年度は比較的平穩裡に推移せると最近支那沿岸航路汽船の進歩發達に由り支那沿岸諸港間の貿易額が年々順調の發達を遂げ來りしとにより本年度當港移出貿易に於ても既述の如く二%餘の進歩を示せるなり。

青島港輸移出貨物仕向地別表 (單位海關兩)

仕向地	昭和元年	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	一三、七三六、〇〇八	一六、三三〇、五五六	一三、五三六、四九〇	×
朝鮮	八八八、八七四	七八、九九四	五九二、九九	×
香港	一、九二二、三六八	四、九〇一、六四七	三、九九二、二二二	×
英國	一一、四一〇、〇四〇	三、一五六、六五〇	一、九八二、五〇〇	×
獨逸	三、三三三、〇七五	一、九六六、八七	一、八二四、二二二	×
佛國	一、一九八、四四五	一、七七七、八二六	四九二、六四	×
伊太利	八三三、三四九	六五、〇四	二四九、二七七	×
西班牙	九八、二五六	三七〇、五五六	—	×
瑞典	一三五、二七三	三七、九六八	八三	×
丁抹	二四八、二九八	一六、〇七九	三四、六六〇	×
埃及	一六四、八四五	—	—	×
露領太平洋沿岸港	三七六、四七七	二一〇、三六	六七、三六	×
和蘭	二、五〇〇、九六七	二、四二七、一三三	二五七、二九	×
白耳義	一、〇〇、〇〇〇	一三三、二四九	一〇、六四三	×
新嘉坡海峽殖民地	一、一三八	一〇、八八〇	一三、一七一	○
比律賓	九五〇	八五、二四	四、七〇	×
加奈陀	四五、八七九	一九七、三三八	六、二九	×

米	六、七五七、六六六	三、〇〇六、一八一	二、九二一、六二〇	×	五、四、五六一
暹羅	三、七二〇	—	九三四	○	九三四
南米	七、四、〇六五	七、五、八五五	三、〇三五	×	七、二、六〇〇
英領印度	五、七、六三七	—	二、六七二	○	二、六七二
英領印度	一九、五〇〇	一七、七、〇〇〇	四、四三七	×	一七、三、一七三
蘭領印度	二、二二九	一三三	四、九〇九	○	四、七、七七
暹羅	—	四九四	九七	×	三九七
土耳其	—	五〇八、七八二	—	×	四、四、三三八
南洋	九五〇	—	—	○	五、七、九六
葡國	—	—	五、七、九六	○	—
計	三、五、七、三八、八八九	三、七、〇、四、七、九七	三、六、三、三、二二〇	×	一〇、八、四、三、六七
内地港へ輸出計	二、六、二、五、九、〇七九	三、七、六、五、六、四三二	三、八、七、〇、八、八四	○	八、二、四、三、八三
總計	六、一、九、七、九、六六八	七、四、七、〇、四、三六	六、四、一、〇、四、〇三〇	×	一〇、〇、一〇、〇、〇〇〇

第二一 款 主要輸移出品の解説

生牛、生牛の輸出は従前邦商間に於て相當重要視せられ大正九年には一萬二千餘頭の日本輸出を見頗る盛況を呈したる事ありしも生牛の儘輸送するは輸送に際し多大の不便を伴ふのみならず最近冷蔵船の設備漸く完全するに至りしを以て肢肉として輸出する方有利となるに至り逐年輸出頭数を減じ本年度は僅かに八十三頭の輸出を見たるに過ぎず。

鮮及冷凍牛肉、山東牛の日本輸出は日獨戦後大正五年邦人の渡青によりて遽かに發達し爾來本邦の食牛界を賑はし食牛調節上にも極めて重要視さるゝに至り其の需要は逐年増加の趨勢を辿りつゝあり、然るに兩三年前濠州、蒙古、朝鮮牛等の日本に輸入さるゝありて一時青島牛肉に脅威を與へし事ありしも其後前記各地方の牛肉は單に罐詰用としてのみ需要さるゝに到り従つて青島牛肉とは自ら其分野を畫するに至れり。本年度上半期は時局に禍されて出廻の減少を來し前年同期に比し四萬六千四十七肢を減じたるも下半年期には日本軍出兵に據る不當課税の撤廢及び治安安全かりしたために却つて出廻増加を見前年同期に比し二萬九百四肢の輸出増加を來せるが結局總額に於て前年より二萬五千百四十肢を減じたるなり。

生牛輸出額 (單位頭)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	六	六	○
大連	三	四	×
計	九	一〇	×

鮮及冷凍牛肉輸出額 (單位肢)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	三、九、四、五、二一	三、七、五、二、六八	×

計	二、八四三	一	三、八四三
其 他	一、四六一	二四	一、四八七
大 連	六三	×	六三
上 海	一、〇五五	×	一、〇五五
其 他	三、七五三	×	三、七五三

麥酒 當港より輸出せらるゝ麥酒は殆んど全部大日本麥酒會社青島工場の醸造に係るものにして、同社は一ヶ年約四十萬打の製造能力を有し之を山東省一圓に供給する外滿洲、上海其他支那各地に移出しつゝあり青島麥酒の品質に就ては世上既に定評あり年を経る毎に販路を擴大しつゝあるが本年度は内地工場製品を滿洲其他の地方に荷捌きするの必要上當地工場製品の製産額を減じたる爲前年に比し六萬一千四百八十打を減じ二十萬九千五百八十三打の移出を見たり。

麥酒 輸 出 額 (單位打)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日 本	三、八五	一〇	×
大 連	一四八、七五三	九四、〇一六	×
上 海	四七、〇九〇	三六、八九五	×
其 他	七、三九六	七六、五五〇	○
計	二七一、〇三三	一〇九、五五三	×

穀 當港が穀の輸出港として顯はるゝに至りたるは大正九年以後の事に屬し同年以前の山東製粉界は全く幼稚の域を脱せず青島並に濟南に於ける二、三機械製粉を除く外他は悉く土法製粉に甘んじ大正九年の好況時に當りて機械製粉遽かに勃興し來り現在青島三工場、濟南十工場を有しその生産能力は一晝夜三萬余袋に及べり、此の事實は青島を穀輸出港として紹介せるものにして爾來當港の穀輸出は漸進の歩調を續け最盛時には一年五十萬担以上の輸出を見たることあり、本年度は既述の如く原料不足に基く濟南製粉工場の休轉に依り依然活氣ある市況を呈するに至らず前年に比し七萬八千八百六十九担を減じ總額二十二萬四千七百五十九担を輸出せり。

穀 輸 出 額 (單位担)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日 本	三〇〇、六六六	三四、六六九	×
其 他	九〇	一〇〇	×
計	三〇一、五六六	三四、七六九	×

石炭 由來山東省は石炭の豊富を以て名あり。獨管時代既に茲に着目し開坑せるも其の採炭量は微々たるものにして僅かに自給自足の域を脱せず、殊に巨資を投じて經營したる坊子炭坑を廢坑して淄川に移りたる如きは著しく山東炭の産出額を減少せしめたるものにして山東炭輸出は日管時代に入り漸次抬頭の機運を醸成するに至りしも其の採炭量は尙四、五十萬噸に過ぎず、大正六年に至り炭況の好化と邦人投

資により博山一体の炭坑は非常の發展を來し淄川も漸次整理時代を過ぎて採炭著しく増加し、同年十七萬餘噸の輸出を見、爾來漸進の步調を辿り遂には五十萬噸以上を輸出するに至れり。前年度は石炭輸出禁令の發布あり又開平炭の活躍するあり次で軍事特捐に反對せる炭業者の不賣同盟を締結するありて輸出額減少を來せしが本年度は前年來持越の貯炭を一掃せんが爲當業者が多大の犠牲を顧みずして上海始め各地市場に販路を求めしと我軍の派遣により各種不當課税の撤廢せられしとにより地賣炭は不況なりしにも拘らず輸出炭は大いに活況を呈し總額四十萬六千六百六十六噸の輸出を見て前年に倍加するの盛況を致せり。

山東炭輸出額 (單位噸)

仕向地	昭和三三年		比較増減
	昭和二二年	昭和三三年	
日本	六、六三二	五七、六七七	×
香港	一	五、五〇〇	○
其他	三、〇九五	一、〇三六	×
大連	一、九〇〇	七七八	×
上海	九三、一四三	三〇三、八五〇	○
其他	一一、〇〇〇	三七、四八五	○
計	一三二、〇〇〇	四〇〇、一三六	○

骸炭、當港輸出の骸炭は殆んど全部博山地方の製品にして間々嶧縣コークスの輸出を見ることあるも其

の數量元より大ならず兩三年來内亂に基く運輸機關の杜絶にて殆んど其の姿を没するに至れり。博山に於ては古くより土法に依る骸炭の製造行はれしが數年前より東和公司に於て新式製法に據る骸炭の製造を行ふに至りてより愈々其の産額を増加するに至りしものにして、博山骸炭の輸出は歐戰當時日本の工業勃興時代に於て最も盛況を現はし、大正七年五萬四千餘噸の輸出を見たることありしが戰後日本に於ける工業の衰退せると膠濟鐵路が從來支那軍閥に蹂躪せられて貨車廻り不良なりしたため大口の契約を爲す能はず、時に契約を見ることありしも殆んど小口のみなるを以て其の輸出額は年々減少の步調を辿り昨昭和二年中の如き僅かに七千五百九十五噸の輸出を見たるに過ぎざりき。本年度は前項記述の如く貨車廻りも潤澤にして且つ不當課税が撤去せられたため出廻り數量多く殊に上海方面には新貨幣鑄造用として多量の需要ありしたため本年中總額一萬九千七百四十一噸の輸出あり前年に比し一萬二千四百十六噸を増加せり。

骸炭輸出額 (單位噸)

仕向地	昭和三三年		比較増減
	昭和二二年	昭和三三年	
日本	三、九五七	四、五六一	○
其他	一	一、五〇九	○
大連	一、四九七	三、三三四	○
上海	一、七九七	八、九七七	○

其	他	三、四〇	一、四〇〇	〇	一、〇九六
計		七、五九五	一九、七四一	〇	二二、一四六

六〇

綿糸、當港は嘗て支那に於ける有數なる綿糸輸入港として顯れ大正六年頃には十五萬餘担の入荷を見た
るも大正十一年以後當地紡績の發達に伴れ漸次輸入を壓迫し太番手物の輸入を拒否するに至りたるを以
て日本より輸入せらるゝ綿糸は細糸を主とせざるべからざる状態に推移し來りたること既述の如く、一
方當地に於ける紡績工場は現在七工場廿七萬餘錠に及び、各紡績工場の手持潤澤となりし結果茲に始め
て輸出を必要とするに至り大正十年僅かに三千四百六十八担の輸出を見るに至りしが其の後逐年増加の
歩調を辿り前年の如き廿三萬餘担の輸出を見るの盛況を致せしも本年は前年に比し稍々不況を現し二十
一萬二千九百五十三担を輸出せり。兩三年來當港輸出綿糸が斯くの如く増加せるは山東省内が常に災亂
に禍せられて賣行涉々しからざりしため各紡績業者が沿岸諸港を始め遠く南洋方面に迄其の販路擴張に
努力せし結果に外ならず。其の仕向先を見るに大連依然主位に在り上海第二位に上り香港之に亞げり。
當地工場製品は比較的支那人の愛好に適するのみならず他地方工場製品に比し其の荷造小型にして廿五
を以て一俵とするが故に交通不便なる支那内地の運搬には極めて適當なるを以て最近支那奥地方面に於
ける需要も亦漸増の傾向あり。今當港輸出綿糸布の發達を年別統計に示せば、

年 別	數 量
大正 十 年	三、四六八担
大正 十 一 年	七、二九八担
大正 十 二 年	一一、五二三担
大正 十 三 年	四八、一一九担
大正 十 四 年	八二、九九三担
大正 十 五 年	一一五、五四四担
昭 和 二 年	二三〇、五一三担
昭 和 三 年	二二二、九五三担

綿糸輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日 本	一、六三三	—	×
香 港	四、六七〇	二八、九〇〇	×
其 他	八九	一五八	×
大 連	五〇、三五〇	五八、五六〇	〇
上 海	四七、一五二	二九、二六三	×
其 他	七、八七〇	九五、九六二	〇
計	二三〇、五三三	二二二、九五三	×

落花生 (穀付) 山東省に於ける落花生の産額は年により差異あり且正確なる數字は元より不詳なれど

も各方面の統計を綜合するに年額約五百萬担と稱せられ當港輸出土産物の大宗なりとす。從來當港より輸出されたる落花生は大部分剝實としてのみ輸出せられしものにして殻付の儘輸出さるゝに至りしは大正九年に始めて日本、露國等に千三百七十七担を輸出したるに始まり、其成績良好なりしに鑑み逐年其數量を増加し大正十三年の如きは四十萬担の輸出を見たるも近年内亂の影響を受けて作付反別の減少、輸送機關の不圓滑等の結果當地來集額は稍減少を示すに至れり。上述の如く殻付落花生の輸出額が數年前に比し著しく増加するに至りし理由の重なるものは剝實の儘輸送するときは特に遠路輸送の場合に於て割實を生じ菓子其他の原料としての品質を損する事甚しく、是を殻付の儘輸送するときは殆んど其破損を見ず完全なる生實を得らるゝ點に於て漸次殻付の需要を増大するに至れるなり。然れども殻付の儘之を輸送するときは運賃容積の上に於て剝實とは比較にならざる費用を要するを以て榨油原料の如き割實を厭はざる方面等は依然生實の需要旺んなるは論を俟たず。本年度山東省内落花生の作柄は前年に比し遙かに良好にして品質に於ても水分少なりしも、時局による奧地經濟界の不安定及反日會の落花生搬出禁止のため主なる産地の齊東、大汶口、滕縣、臨濮等よりの出廻り數量は例年の四分の一に過ぎざる有様にして、此の結果として本年中當地に出廻りたるは排日運動の比較的酷烈ならざる沿岸地方即西南口、石島もの等に過ぎず勢ひ品薄による相場の昂騰を免れずして歐米との相場出合はず、剝實の輸出額は大減少を來したるも殻付に於ては一萬一千八百二十六担と僅かに増加を示せり。

落花生殻付輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	三、五八	五八、〇六八	○
米國	一八、六〇三	五七、五三二	○
英國	一三、三九九	二〇、四四〇	○
香港	九、〇〇〇	九八三	×
其他	一、四〇、五五八	一、五〇、四九一	×
大連	二	一	×
上海	三、六〇四	六、二六六	○
其他	一、九、〇〇一	一、七六八	×
計	二八三、七五二	二九五、五七六	○

落花生實 本品の當港輸出は古き歴史を有し、既に獨管時代に於て旺んに外國に輸出せられたるも其數餘り多からず越えて大正七、八年頃より世界各地の需要漸次旺盛に推移し大正九年中に於て遂に百二十三萬餘担の輸出をなし世人をして其の供給力の偉大なるを驚嘆せしめたるが爾來漸進の歩調を改めず大正十三、四兩年には遂に二百五十萬担を突破するの盛況を致せり。併し本年度は前項記載の如く作柄及品質良好なりしにも拘らず反日會の搬出阻止を蒙りたるため著しく出廻額を減少し輸出額に於ても亦八十萬餘担を激減して百六萬四千二百三十担の輸出を見たるのみなり。其仕向先は南支方面、日本を始

め歐米の殆んど各地に至るものにして、殊に大戦後外商の當地に於ける活躍目醒しきものあり。今年年中の輸出數量を示せば左の如し。

落花生實輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年		昭和三年		比較増減
	数量	金額	数量	金額	
日本	111,775	11,140	111,408	11,137	×
米國	111,041	310,634	111,711	95,283	○
英國	111,035	11,711	111,711	9,604	×
香港	6,456	110,933	110,933	14,457	○
其他	711,334	80,455	80,455	61,919	×
大連	688	—	—	688	×
上海	170,788	90,100	90,100	8,518	×
其他	68,577	49,148	49,148	23,259	×
計	1,864,794	1,038,110	1,038,110	800,564	×

花生油、當港輸出の落花生油には精油と粗油の二種あり。精油として認めらるゝは當地に搾油工場を有する峯村、東和二工場の製品並に精製油房を有する貿易商の精製品にして、之等に對し奥地より籠に容れたる儘當地に搬出さるゝものを粗油と稱す。當地積出生油の何割が精油にして何割が粗油なるかは

不明なれども南支方面に仕向けらるゝものは大体粗油にして諸外國に仕向けらるゝものは精油なりと判定し得べし、本年度花生油市況を見るに、乾燥及含有油分の點に於て最適原料たる濟南物の出廻り額僅少なりしたため相場高含みにして歐米買進ます殆んど廣東帮のみ買付けたる結果前年に比し十二萬六千七百四十三担を減じ總額二十三萬五千六百六十三担を輸出せり。其の仕向先を見るに香港及廣東向のみは本年二十一萬五千四百四十四担の輸出を見て殆んど當港輸出額の大半を占有せるも日本を始め其他諸外國は何れも著しき減少を示せるものとす。

落花生油輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年		昭和三年		比較増減
	数量	金額	数量	金額	
日本	17,451	1,711	17,451	1,711	×
米國	11,137	13,071	11,137	7,071	×
英國	6,229	—	6,229	2,545	×
香港	58,796	88,431	88,431	2,545	○
其他	45,068	1,217	1,217	14,141	×
大連	11,085	768	768	1,171	×
上海	16,173	10,016	10,016	3,171	×
其他	134,297	131,173	131,173	11,137	×
計	362,406	235,633	235,633	235,633	×

花生、当地より輸出する本品は主として東和、峯村兩榨油工場の製品にして大部分日本に仕向けらる。本年度當港輸出額は十三萬八千六百担にして前年に比し三萬四千百三十一担を減少せり。

落花生粕輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	一五、七六〇	一〇、五三六	×
米國	一六、八七七	二五、六四三	○
英國	—	一、六八〇	○
香港	一三〇	—	×
其他	—	五、〇四〇	○
上海	九、九七	一、一〇〇	○
其他	—	—	○
計	一七、七三二	一三、八〇〇	×

牛油、當港は牛油の輸出港として支那各港の首位に位し、本年中四萬一千七百六十九担の輸出をなし前年に比して八千七百六十六担を増加せり。省内の耕牛頭数は特に他省より優れたるものに非ざるも只獨逸時代當地に東洋第一の稱ある屠牛場を建設し其の後日本の需要旺盛なるに従ひ逐年其の屠數を増大し來りたる結果本品輸出も漸次進展し來りたるものなりとす。尙當港より輸出さるゝものゝ一部分は奥地方面より出廻るものにして山東の奥地は濟南を中心として回教徒の集合地點たる關係上食牛も多量に上り自然牛油の産額も相當多量に上るものとす。

牛油輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	一〇、一〇六	二六、五三三	○
香港	—	一、二九三	○
其他	三、九三三	四、四四六	○
大連	二、三三八	一、〇三三	×
上海	五、一六五	六、五五五	○
其他	一、五五二	一、三三二	×
計	三三、〇〇三	四一、七九六	○

鶏卵、支那に於ける鶏卵の輸出港として著れたるは天津、上海、青島の三港にして、青島は一時天津、上海を凌駕し第一位を占めたることありしも最近其の主要消費地たる日本に於ける養鶏業次第に發達し殊に四國、愛知等の産額多く一面當地來集卵は天津及上海卵に比し品質稍劣れる感ありて常に南北兩市場に押され氣味に推移し來りしが最近白河の航行不便となり天津日本間の運賃割高となるや從來天津に集散せるものも多少當地に來集するに至れり、山東省内に於ける鶏卵の産地は一局部一地方に極限せられ

す極めて普編的にして農家は一般に副業的に養鶏の風習あり、當地に來集するものは膠濟鐵路沿線地方及び沿海地方にして黄河沿岸地方及び津浦沿線地方のものは一度濟南に集り更に當地に轉送さるゝものとす。本年度は其の出廻り最盛期たる三、四、五、六の四ヶ月間に於て内亂の影響を蒙りし事僅少ならず殊に津浦沿線地方に於て其の影響尤も甚しかりしを以て本年度の輸出數量も亦減少を來せり。本年中當港輸出額は一億六千七百七十六萬六千個にして前年の二億三千四百一十一萬八千個に比し六千七百三十三萬二千個を減少し、中日本向は一億二千六十二萬五千個にして前年に比し二百四十六萬三千個を減少せり。

鶏卵輸出額 (單位千個)

仕向地	昭和二年		昭和三年		比較増減
	数量	金額	数量	金額	
日本	1,111	33	1,111	33	○
英國	784	237	784	237	○
香港	11	16	11	16	○
其他	94,533	17,833	94,533	17,833	○
大連	6,933	6,933	6,933	6,933	○
上海					
其他					
計	334,218	167,766	334,218	167,766	×

麥、稗、真田、當港輸出麥稗真田は斑色及標白品の二種にして以前着色物の輸出を見たることありしも現在殆んど其の跡を絶つに至れり。昭和三年中當港より輸出せられしものは斑色二萬八千六百六十一担、標白三千九百七十九担合計三萬二千六百四十担にして、前年に比し一萬三百二十四担を増加せり。之を各輸出港別に就て見るに日本輸出は一萬五千四百三十二担にして前年に比し六百八十七担を増加し、米國向は六百六担にして百六十二担を減少し、上海向は八千七百二十二担にして五千四百二十一担を増加し、英國向は八百八十七担にして之又六百二十七担を増加せり。

麥稗真田輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年		昭和三年		比較増減
	斑色	白色	斑色	白色	
日本	11,505	11,151	15,401	732	○
英國	1,745	1,533	1,533	1	○
米國	744	11	606	1	×
斑白兩品計	744	11	606	1	×
英國	197	33	867	33	×
斑白兩品計	197	33	867	33	×
計	13,246	12,228	18,944	708	×

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
香港	171	171	○
斑白兩品計	3	171	○
其他	84	408	○
大連	15	353	○
斑白兩品計	131	353	○
其他	507	408	○
上海	1001	1170	○
斑白兩品計	117	27	×
其他	1084	1143	○
計	1779	3979	○
同 上	3316	3360	○

桐材、本品は従前當港輸出主要貨物の一たりしものにして、主として山東省西部及河南省産のものを津浦線又は黄河の水利に依りて濟南に搬出し膠濟線にて青島に出で更に日本に輸出したるものなるが、近年日本内地の桐樹は漸く伐採期に到達して日本内地の價額低落せるに反し山東省産は運輸機關の杜絶に依り其の搬出困難なるのみならず運賃諸掛り等に多大の費用を要し日本内地産に比し却而割高となるが故に年々漸減の歩調を辿りつゝあり。

桐材輸出額 (單位海關兩)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	16,966	17,955	○
其他	1	273	○
大連	790	855	○
上海	1	1,955	○
計	17,758	18,998	○

葉煙草、當港より輸出せらるゝ葉煙草は東部の安邱、昌邑地方、中部の濰縣、坊子地方及び西部の昌樂、益都、臨朐地方に産する米種にして年々十五萬担乃至十八萬担の輸出をなしつゝあり、作付反別は年により差異あり全盛時たる大正十年には一萬町歩以上に達したることありしも最近本省に於ける税金の激増と共に次第に減少し三千町歩見當となれり。本年度葉煙草の作柄は前年に比し稍不良なりしも作付反別を稍増加せるため輸出總額十八萬四千八百四十一担に達し前年に比し三千九百八十九担を増加せり。今更に其仕向地別に就て見るに日本向及び上海向は何れも増加を示せるも大連向は約二萬四千餘担を激減せり。當地輸出の葉煙草中日本向は日本專賣局への納品にして其の他の支那内地に移出さるゝものは支那に製煙工場を有する英米トラスト、南洋兄弟、東亞煙草其の他諸會社の原料として使用さるゝものにして製品は再び支那の各地を潤し殊に英米、南洋工場の製品は支那人の嗜好に適し東亞煙草も亦

最近支那人間に愛用さるゝに至りしも多くは朝鮮、滿洲方面の販路を目的とするものなり。

葉煙草輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	10,473	11,516	○ 1,043
其他	406	—	× 406
大連	3,498	7,435	× 3,937
上海	92,008	104,632	○ 12,624
其他	5,446	5,261	○ 185
計	100,423	128,844	○ 28,421

牛皮、山東の牛皮は其の産額豊富なるを以て名あり。殊に奥地濟南、臨清、東昌、濟寧の地方は回々教徒の集合地にして牛肉を嗜好する程度他省に優り、従て牛皮の産額多く殊に青島には東洋一の稱ある屠獸場ありて毎年生牛の屠殺頭數々萬頭に上り、之等は悉く塩藏皮として輸出せられつゝあり。大正九年頃迄の濟南は所謂牛羊皮市場として榮わ、其取引頗る旺盛を極め従つて當港より輸出せられしもの相當多額に上りしも、其後軍縮に由る日本内地の需要減退にて濟南市場集散額は次第に減少の趨勢を辿り、牛皮としての市場は全く營口及漢口に奪はるゝに至りし結果當港輸出額も年々減少の途を辿りつゝあり。殊に昭和二年度に於ては牛皮の大市場たる漢口方面が時局動亂の爲輸出激減し河南方面の貨物も擧

げて青島に集まり相場又昂騰し殆んど病的の輸出旺盛を呈したるに反し昭和三年度殊に下半期に於ては漢口市場の輸出旺盛、米國市場の安唱へ、日本内地需要の緩慢等の諸原因に依り舊態に復したるに外ならず

牛皮輸出額 (單位担)

仕向地	昭和二年	昭和三年	比較増減
日本	56,742	18,119	× 38,623
米國	145	91	× 54
英國	—	500	○ 500
香港	—	945	○ 945
其他	2,382	4,528	○ 2,146
大連	4,344	8,682	○ 4,338
上海	25,333	23,570	× 1,763
其他	6,953	2,081	× 4,872
計	95,881	58,517	× 37,364

鹽、膠州灣の沿岸一帯は天候其の他の關係上好個の製鹽地にして其の産額多く、日本時代に於ては日本内地に於ける鹽不足と共に好個の補充鹽として輸出旺盛を極めたる一方、朝鮮漁鹽としての需要も増大し毎年三百萬担より五百萬担見當の輸出を見たるも、大正十一年末守備軍の撤退以後に於ける輸出狀

579
185

態を見るに北京に於ける鹽業協定は相互の主張に懸隔ありて容易に纏らず、爲に日本政府は青島鹽の買収を中止し越えて十三年六月朝鮮總督府に於ても北京會議の不調を名として青島鹽の輸入を絶對に禁止せるため十三年下半年僅に六十八担の輸出を見たるを最後とし爾來日本及朝鮮方面の輸出全く中絶せるため膠州灣一帶の鹽田は全く荒廢に委するの止むなきに至り、遂には鹽民の暴動を惹起する等の不祥事を來せしも漸く大正十五年に兩者間に協調を見るに至りしを以て十五年下半年より日本向の輸出を開始するに至れり。本年度は相場關係上不況裡に推移し前年に比し百二十四萬三千二百二十四担を激減して總額二百五十四萬二千五百十八担と爲れり。

仕向地	鹽輸出額 (單位担)		比較増減
	昭和二年	昭和三年	
日本	三〇八、〇三二	二、三九六、五三六	×
香港	四三、三〇〇	九八、四八〇	×
其他	一八、三三八	二〇、一三〇	○
上海	三三、四一〇	八三二	×
其他	一八二、九三三	三六、四三〇	×
計	三、六五七、七三三	二、四二二、五二八	×

青島港重要輸移出品數量比較表

品名	單位	昭和二年		昭和三年		比較増減
		數量	金額	數量	金額	
生牛	頭	九七	三、九三三	八三	一八、八三三	×
骨粉(牛)	担	三、四四七	一、九一五	四、〇五八	一、二六七	○
豚毛	同	三、九二〇	三、四四七	三、四四八	三、四四八	○
乾卵白	同	三、九二〇	三、九二〇	三、四四八	三、四四八	×
乾卵黃	同	三、九二〇	三、九二〇	三、四四八	三、四四八	×
生雞卵	千個	三、九二〇	三、九二〇	三、四四八	三、四四八	×
烏賊	担	二、三三八	二、三三八	一、四三三	一、四三三	×
鹽魚	同	八、七三二	八、七三二	二、七〇一	二、七〇一	○
人毛	同	八、八三三	八、八三三	一、七三二	一、七三二	○
生皮	同	九、五八一	九、五八一	五、八五七	五、八五七	×
鮮及冷凍牛肉	肢	四〇〇、五三三	四〇〇、五三三	三、五三二	三、五三二	×
牛油	担	三、四四七	三、四四七	四、七三九	四、七三九	○
羊毛	同	二、五五五	二、五五五	七、八元	七、八元	○
黃豆	同	三、三	三、三	一八	一八	×
蠶花	同	三〇三、六六六	三〇三、六六六	三、四、五五九	三、四、五五九	×
棉花	同	一〇〇、一六八	一〇〇、一六八	八、五、三三〇	八、五、三三〇	×
黑棗	同	一、六、五七〇	一、六、五七〇	一、四、三三九	一、四、三三九	×

579
185

